

POINT 7 無駄なく備蓄できる「ローリングストック法」のすすめ

保存食を備蓄しておくことも大切ですが、普段からよく使用している食材等の賞味期限が少し長めな商品を、日ごろから少し多めに買って置き、賞味期限が近いものから順に使うようにし、使った分だけ補充することで、賞味期限が長く残るものとの入れ替わりながら、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておくことができます。

また、各ご家庭に少しずつの備蓄があることで、災害直後の店頭での品不足等の混乱をやわらげることができます。

POINT 8 災害時の情報収集のため、防災行政無線の戸別受信機を設置しましょう

町では、災害に備え、防災行政無線戸別受信機の各戸配備を勧めています。防災行政無線は災害情報をはじめ、町で行う各行事や住民健診等、みなさんの生活に関連した情報を随時放送しています。

また、戸別受信機は乾電池を取り付けることで、停電時でも受信・情報収集ができます。防災行政無線新規設置時に分担金

5,000円(※)を徴収させていただきますが、故障や交換等の対応は町が無償で行いますので、ぜひご検討ください。

なお、電波状況により屋外アンテナの設置が必要な場合は、町が無償で設置します。ただし、借家の場合は、貸主の許可が必要となります。

※生活保護世帯、準要保護世帯、重度障害者世帯は、分担金が免除されます。



共助 身近な人同士の助け合いで自分たちの地域を守る

POINT 1 自主防災組織を設立しましょう

大規模地震が発生し、建物の倒壊などで中に閉じ込められたとき、多くの人命を救ったのは、家族や近隣の方たちの助け合いによる「共助」でした。そのため、近所の高齢者の安

否確認や避難誘導など、自主防災組織の役割は重要なものとして注目されています。

いざというときに備え、地域を守る自主防災組織の設立と活動を考えましょう。

※町では、自主防災組織を設立し、防災用格納庫および資機材の整備を行う費用や、地域防災のリーダーとして活躍する防災士の資格取得費用に対する補助制度を実施しています。詳しくは、5ページに掲載しています。

公助 災害に強い町をつくる

取り組み

POINT 1 災害時には防災行政無線でお知らせします

災害の発生が予測される場合や、災害発生時に的確な情報を町民のみなさんにお知らせするため、防災行政無線を整備しています。

町内44か所の屋外スピーカーの他に、各世帯に戸別受信機を設置いただき、速やかに情報を伝えられるように整備しています。

POINT 2 津波避難タワーや津波避難ビルを指定しています

津波対策として、津波避難タワーや津波避難ビルを指定をしていますので、防災マップなどで場所を確認しましょう。



津波避難ビル・津波避難タワー

NO	施設名称	所在地
1	テンダーヴィラ 九十九里	屋形 5025-3
2	セザール マンション	尾垂イ 3513-39
3	養護老人ホーム 光楽園	木戸 9628-9
4	津波避難タワー	屋形 5275-14
5	白浜小学校	木戸 1334

POINT 3 災害時における各種協定を締結しています

災害が発生した場合、迅速な対応ができるよう、各分野の企業や団体、地方公共団体と災害時における各種協定を締結しています。